

E

東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人  
盈進学園 東野高等学校  
総務部

東野高等学校 校長 平井 廣治

## 2026 年度の始まりに

謹啓

陽春の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年度、盈進学園創立 100 周年、東野高等学校開校 40 周年という大きな節目を迎えた本校にとって、今日から始まる 2026 年度は、学校として更なる発展を目指すうえで、今まで以上に力強く歩み始めるべき年です。新たな幕開けにあたって、始業式では以下のような話をいたしました。

はいはい 2026 年度が始まります。新入生 382 名、2 年生 318 名、3 年生 309 名、全校生徒 1009 名。特別な「縁」によって結ばれた 1009 名でスタートするこの 2026 年度は、学校として次なる 100 年に向けて、また開校 50 周年に向けて新たに力強く歩み始める年となります。その 2026 年度の東野高校のキャッチフレーズは、「すべては探究」。まずは、このキャッチフレーズを皆さんとしっかり共有したいと思います。現代はこれまでにない変化の激しい時代・社会となっています。そのような中で活躍していくために必要なもの、その一つが主体性です。そして、主体性を磨くために求められているのが探究学習であり、本校では今年度その探究学習の機会を大幅に増やしていきます。具体的には、「総合的な探究の時間」や「ロングホームルーム」では学年・クラス単位での探究学習を、3 年生の「曜日選択授業」では各教科に関連する探究学習を、「選べる土曜日（進学コース対象の講座）」では教科の枠を越えた探究学習を、それぞれ推進していきます。特に今年度で 2 年目を迎える「選べる土曜日」は、主体性を磨くのに最も適したものとなります。強いられて何かをやるのではなく、自らの意思で取り組む。多くの皆さんがそのような姿勢で探究学習に臨んでくれることを期待します。

さて、ここまでは学習としての「探究」について話してきましたが、本校のキャッチフレーズにある「探究」はそれだけにとどまるものではありません。「探究」という言葉は元々、「ある物事の真の姿・あり方をさぐって見きわめること」という意味です。その意味で言えば、「探究」はもっと広く、自分の目指す姿やあり方をさがすことでもあるはず。つまり、進路実現に向けて努力を重ねることも、部活動や委員会活動に励むことも、学校行事に全力で取り組むことも「探究」です。まさに、学校生活のありとあらゆる場所に「探究」の場面はあり、それらを通じて主体性や生きる力を向上させていくというのが、「すべては探究」というキャッチフレーズが真に意味するところ。す。

もう一つ、年度の始まりだからこそ皆さんと共有したいもの。それが東野高校の建学の精神です。時代が変わろうとも決して揺るがない本校の建学の精神、それは「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」。この言葉は、東野生である皆さんにとって、どのような時も行動の指針となるものです。

「知識は第一の宝」…学びを大切にしましょう。学びは学習活動だけでなく、部活動や委員会活動、学校行事など様々な場面にあります。しかし、一番の基本は日々の授業です。授業の目的、それは単に学力を向上させることだけでなく、学ぶ姿勢を確立させることでもあります。得意な科目でも苦手な科目でも、進路に直結する科目でもそうでない科目でも、どのようなものでも積極的に学んでいく姿勢を身に付けましょう。そうすれば、

学校法人  
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木 112-1  
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665

EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL

112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN  
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665



# 東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人  
盈進学園 東野高等学校  
総務部

これから先にどのような変化が起ころうとも、皆さんはそれに適した学びをして乗り越えていけるはずで、日々の授業を大切にすることこそ、本校で呼び掛けているのが「レディネス」です。「レディネス」とは、学習や新しい行動を始めるために必要な「心身の準備状態（やる気、能力、知識、環境）」を指す心理学・教育用語です。皆さんに心がけてもらいたいのは、もちろん「授業に臨むにあたっての準備状態」を整えることです。時間に余裕を持って教材を準備し、着席を完了するとともに、学びに向かう気持ちを整えたうえで、一つひとつの授業に臨みましょう。

「品行は最高の美」…自らの言動や身だしなみに責任を持ちましょう。人は誰も社会の中で生きていくことになります。社会とは人と人との関わり合いを基盤に成り立つものです。そして、学校は人と人との関係性を学ぶ、言い換えれば社会性を高める場でもあります。自分のことだけを考えるのではなく、他の人の気持ちを考えた言動を心がけましょう。なお、「品行は最高の美」を大切にすることで、最も許されないのは「いじめ」です。「いじめ」は人の尊厳を踏みしめるものであり、場合によっては犯罪にも該当します。なお、「いじめ」をしている側がそのつもりはなかったとしても、その行為の責任を免れることはできません。各自が思いやりの心を大切にし、そうしたことが起きないようにしていきましょう。

「忍耐は無上の力」…学校生活を送るうえで、なかなか思うようにいかないこともあるかも知れません。しかし、そうした時に簡単には諦めず試行錯誤してみてください。たとえそれで結果として上手くいかなかったとしても、粘り強く努力した経験は、自らを成長させる糧となります。

さあ、ここまで今年度のキャッチフレーズと、本校の建学の精神について話してきました。「すべては探究」と「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」。この二つを胸にとめながら、実りある一年間を過ごしてください。

様々な場面で「主体性」が求められる中、本校ではそれも意識して「選べる土曜日」などの新たな取り組みを始めています。今年度はその流れをさらに進めるべく、「すべては探究」というキャッチフレーズを掲げました。これに基づき、お子様の大きな成長を支えるべく教職員一同尽力してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

2026年4月25日（土）9：20より全学年保護者会を実施いたします。保護者の皆様方にはぜひご参加いただけますようお願い申し上げます。詳細については別紙の案内をご確認ください。

学校法人  
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1  
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL  
SCHOOL FOUNDATION112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN  
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665